

## チンパンジーにおける生息環境展示の可能性(ポスター)

川口芳矢、平賀真紀、小川直子、小林和彦、小倉典子(よこはま動物園)

よこはま動物園のチンパンジー展示場は、チンパンジーの生息地を再現した生息環境展示方式で造られている。1400 m<sup>2</sup>の面積を有する屋外展示場内には、樹高 10m 以上の高木をはじめ、低木、地被植物など合わせて 34 種の植物が植えられ、建設前に生息地調査を行いデザインされた擬木や擬岩、循環式の流れを配してアフリカの森が再現されている。来園した7頭(雄2、雌5)のチンパンジーを初めて屋外展示場に放飼した2009年4月以来、約 1 年半が経過した。今回は、この間のチンパンジーによる展示場内植物の利用頻度や嗜好性、展示場内の利用箇所に見る季節性や年度による変化などと、実際にアフリカの森でチンパンジーを観察した経験から、チンパンジーにおける生息環境展示の可能性を考察する。